

平成 28 年度大阪府教育庁支援教育課・府教育センター支援教育推進室との懇談会
～大阪府における支援教育の現状と課題～



平成 29 年 2 月 8 日（水）、大阪府教育庁・府教育センターとの懇談会が行われました。研究会の本部役員、支部長、行事部員の参加のもと、教育庁から 6 名、府教育センターから 1 名参加していただき、「大阪府における支援教育の現状と課題」をテーマに懇談が進められました。

研究会による今年度の活動について報告した後、以下の項目について府教育庁、府教育センターから情報提供をしていただきました。

- 1 大阪府内の小・中・義務教育学校における支援教育の現状と課題
 - 府内の児童生徒数が減少している中で、支援学級の在籍者と学級数は増加している。
 - 支援学級設置率は全国平均の 77%（H27）に対して、大阪府が 99.3%（H28）で全国 1 位である。障がい種別での設置を促進している。
 - 通級指導教室について、H28 年度は小学校 171、中学校 51、合計 222 教室の設置となっている。情報提供後に、国による通級指導の基礎定数化等に関する質問等があった。
 - 支援教育課による学校訪問が H28 年度は 39 市町村、42 校を対象に行われた。学校訪問の中で各学校が取り組んでいる基礎的環境整備や合理的配慮の提供について、具体的な事例を紹介していただいた。
 - 市町村医療的ケア体制整備推進事業を H18 年度より継続しており、H28 年度は 26 市町村で 115 校（2 月 1 日現在）に看護師が配置されている。
 - 個別の教育支援計画は、支援学級在籍の児童生徒について 100%作成されている。通級指導教室を含む通常の学級において、作成が必要と思われる児童生徒については、H28 年度は 95%の学校が作成に取り組んでいる（5 月 1 日現在）。すべての学校において取り組みができるよう進めていきたい。
 - 毎年度「個別の教育支援計画 作成・活用実践報告会」を開催しており、H28 年度は、富田林市の中学校における校種間連携での活用事例をはじめ、様々な発達段階における具体的な情報交換を行った。
 - H28 年 3 月に「個別の教育支援計画」の作成や活用のポイントを示したリーフレット「ともに学びともに育つ 一貫した支援のために」を作成した。府内の公立・私立の学校園所や関係部局等、広く配布し、活用促進を図っている。

- H27・28 年度文部科学省事業を受託し、府立松原高校をモデル校、枚方市と四條畷市をモデル地域に指定し、各学校段階の移行期における円滑かつ適切な引継ぎ方法・時期等に関する研究を実施。12 月に開催したフォーラムでは、府内の公立・私立各学校や関係機関等から 600 名超の参加があり、アンケートでは大変肯定的な回答を得た。
- 2 高等学校におけるともに学び、ともに育つ教育の推進について
 - 「知的障がい生徒自立支援コース」と「共生推進教室」について、リーフレットをもとに説明をしていただいた。授業形態や学籍、進路等、詳しく伺うことができた。
 - 高等学校において、支援の必要な生徒が増加している。自立支援コース設置校のうち 4 校が支援教育サポート校となり、支援学校と連携しながら高等学校の支援教育力向上に努めている。校内体制や教材教具、評定に関する助言、研修等が行われている。
 - 高校生活における合理的配慮や中学校から高等学校への引き継ぎ等について意見交流がされた。
 - 3 支援学校の現状と課題について
 - 旧大阪市立特別支援学校の府への移管により、府立支援学校は 44 校 2 分校となった。在籍数も増加しており、H28 年度の幼児児童生徒数は 9,160 人（平成 28 年 5 月 1 日時点。堺市立、八尾市立を含む）。特に知的障がい支援学校の小学部が増加傾向にある。
 - 大阪市から府に移管した 12 校のうち知的障がい支援学校 6 校（知肢併置校 1 校含む）に、H30 年度までに職業コースを設置予定である。
 - 免許法認定講習を今後も継続し、教員の専門性を高めていきたい。
 - 4 大阪府「支援教育地域支援整備事業」について
 - 事業の内容や今後の各地域ブロック内の連携体制について、資料をもとに説明していただいた。
 - 5 支援教育推進室の取り組みについて
 - 調査研究を行い、『見つめよう一人ひとりを』という冊子の改訂を行い、初任者研修等でも活用している。実践的な内容となっており、ホームページにも掲載されているので、さらに活用してほしい。
 - 今年度も府教育センターの研究フォーラムで講座を開催した。基礎的環境整備や合理的配慮に関する内容の講座で実践事例も紹介し、日々の指導や支援に活かせるようにした。講座の要旨もホームページに掲載していく予定である。
 - 来年度、支援教育推進室で実施予定の研修について説明をしていただいた。

支援を必要とする児童生徒が年々増加していることから、府教育庁や府教育センターが一人ひとりを大切にしたい多くの取り組みをされていることを強く感じるとともに、改めて大阪府の支援教育の素晴らしさを実感できる懇談会となりました。また、各部署での今後の課題についても知ることができました。来年度も大阪府の支援教育の発展のためにしっかりと取り組んでいきたいという思いをもちました。

大阪府支援教育研究会 行事部